

足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 評価報告書（概要版）

1 足立区文化・読書・スポーツ推進計画の概要

区では、人生100年時代を念頭に、文化・読書・スポーツの3分野が、健康な心と身体を基本としつつ、生きがいや充実感をもって日々を心豊かに生きていく（区民一人ひとりのウェルビーイングの向上）ための重要な施策分野であると考え、共通理念に基づき、3つの計画を一体的に策定し、相互の関係を意識しつつ、各施策に取り組んでいる。

【文化・読書・スポーツ分野計画の共通理念】
楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きる

2 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会の概要

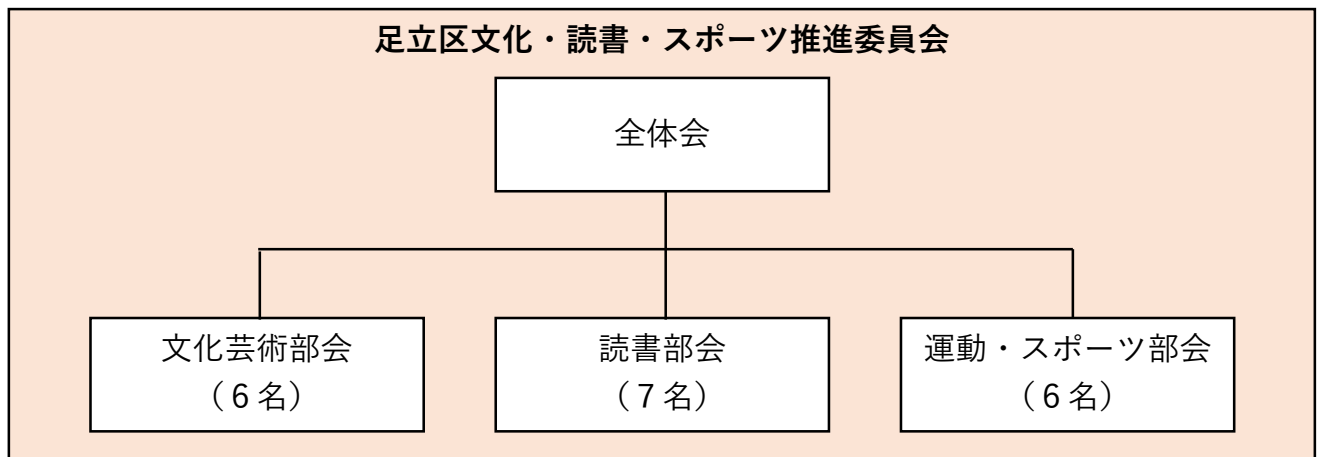
（1）推進委員会の役割

- ① 「足立区文化芸術推進計画」「足立区読書活動推進計画」「足立区運動・スポーツ推進計画」の策定、進行の一体的な管理及び評価
- ② 足立区における文化芸術、読書活動及び運動・スポーツの推進

（2）推進委員会の構成

- ① 20名（学識経験者委員4名、有識者委員9名、区議会議員委員3名、区民からの公募委員4名）で構成
- ② 審議を効率的、効果的に実施するため「文化芸術部会」「読書部会」「運動・スポーツ部会」の、合計3つの部会を設置

《推進委員会の体制図》



3 評価の概要

（1）対象施策

24施策（文化芸術分野9施策、読書分野9施策、運動・スポーツ分野6施策）

（2）評価の考え方

以下の視点に基づき、5段階で評価

現在の達成状況	今後の方向性
① 目標に対して成果が十分に 出ているか	① 各取り組みが施策の方向性に沿ったものか ② 施策の取り組みに向けた手法は適切か

4 各分野の評価結果の概要

(1) 文化芸術分野

施策名	全体 評価	達成 状況	方向 性
施策の柱 1 生涯を通じて文化芸術との出会いを創出する			
施策 1-1 文化芸術の楽しさに「気づく」機会を創出する	3	3	3
施策 1-2 子どもの成長に応じた文化芸術事業を提供する	4	4	3
施策の柱 2 区民の活発な文化芸術活動を促進する			
施策 2-1 活動の継続を促す参加・体験の機会を増やす	4	4	3
施策 2-2 個人や団体の活動の継続を支援する	4	4	3
施策 2-3 活動の成果を発揮できるイベントを開催する	4	4	3
施策の柱 3 足立区の文化資源を次世代に継承する			
施策 3-1 文化財・文化遺産を調査し、保存・活用する	4	4	3
施策 3-2 地域の伝統文化を次世代に継承・活性化させる	3	3	2
施策の柱 4 文化芸術の輪を広げるプラットフォームを形成する			
施策 4-1 足立区の文化的な魅力を効果的に情報発信する	3	3	3
施策 4-2 連携及び交流の機会を充実し、文化芸術の推進を図る	3	3	3

《文化芸術部会における主な議論》

① 事業展開の地域的な偏り

- 区の文化芸術事業は、千住が中心となってしまっているように感じる。
- 区民がどこでも文化芸術に親しむことができる事業展開が必要ではないか。

② 広報・情報発信の強化

- 事業の参加者拡大に向けた工夫が不足していると感じた。
- 単なる告知手段でなく、文化芸術への入口になるようなアプローチが必要ではないか。

③ 指標の見直し

- 事業の目標に対し、その方向性を評価するための指標が不十分に感じる部分もある。
- 例えば「えんチャレ」事業では、単に登録者数だけを指標とするのではなく「足立区が支援したアーティストが、その後足立区ほどの程度の効果をもたらしているのか」といった、区民還元の視点なども取り入れた、各指標の見直しが必要ではないか。

【文化芸術部会の総括】

- ① 施策ごとの取り組みにはまだ改善点が残るものの、全体としては、一定の評価が与えられる。
- ② 「達成状況」と比較して、特に「方向性」については、評価が「2」となった施策があること、また、全般的に低調な評価に留まったことなどから、対策を講じていく必要がある。
- ③ 今後は、実施状況をより適切に把握できる指標の設定を含め、改めてこれまでの取り組みの現状を分析し、適切な方向への改善に繋げていくことが求められる。

(2) 読書分野

施策名	全体 評価	達成 状況	方向 性
施策の柱 1 子どもの読書習慣に繋がる機会の充実			
施策 1-1 乳幼児が本に親しむ機会の充実	4	4	4
施策 1-2 子どもの読書習慣が身に付く活動の推進	4	3	4
施策 1-3 子どもや保護者に読書の楽しさや大切さを伝える啓発活動と情報発信	3	3	3
施策 1-4 本に親しみ、学ぶための学校図書館の充実と活用	4	4	4
施策の柱 2 区民の読書に対する関心を高め支える環境の充実			
施策 2-1 区立図書館資料の充実と活用	4	4	4
施策 2-2 障がいや言語などにかかわらず読書に親しめる図書資料などの整備	4	3	4
施策 2-3 区立図書館などの空間サービス、情報発信の充実	4	4	4
施策の柱 3 読書活動を通じた人と人とのつながりの形成			
施策 3-1 読書活動にかかわる人材の育成と団体の支援	4	4	4
施策 3-2 読書活動推進のための多様な連携と協創の推進	4	4	4

《読書部会における主な議論》

① より多様な方法による読書活動の推進

- 例えば、これまであまり力を入れてこなかった大人向けイベントの実施や、時期及び話題性も重視したイベントの企画など、前例踏襲とならないような工夫が求められる。

② 効果的な情報発信のあり方

- 今後は、従来型の情報発信に加え、図書館外でのより積極的なPRや、区民が受動的に受け取ることのできる情報発信体制の構築が必要。

③ 成果指標の見直し

- 特に図書資料の貸出冊数については、全国的に右肩下がりである実態も踏まえ、どのように施策の達成度を測定していくかを検討してほしい。

【読書部会の総括】

- ① 「達成状況」「方向性」の評価ともに「4」が半数以上となったことから、各施策については一定の成果があり、かつ、適切な方向へ展開されていると言える。
- ② 多様な施策、事業について、今後はより具体的、発展的な提案を検討することで、質の向上に努めていくことが求められる。

(3) 運動・スポーツ分野

施策名		全体 評価	達成 状況	方向 性
施策の柱 1 運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり				
施策 1-1	子ども・成人・高齢者・障がい者が運動・スポーツを楽しむきっかけづくり	4	4	3
施策 1-2	だれもが運動・スポーツを「する」「みる」機会の充実	4	4	3
施策 1-3	運動・スポーツに関する情報の効果的な発信	3	3	3
施策の柱 2 運動・スポーツの楽しみを深める場の提供				
施策 2-1	身近な場所における運動・スポーツの推進	4	4	4
施策の柱 3 運動・スポーツをささえる人材の育成と活躍の場の創出				
施策 3-1	運動・スポーツをささえる組織の支援と連携強化	3	3	3
施策 3-2	運動・スポーツをささえる人材の育成とマッチング	4	4	3

《運動・スポーツ部会における主な議論》

① 指標、事業アンケート対象者の見直し

- 現在の評価は成果指標を中心としているが、特に、事業アンケートを指標としている施策・事業については、回答者が意欲的な層に偏っていることによるバイアスが発生している可能性があり、目標値や達成度と現場実感に乖離がある。
- 指標が曖昧で評価しにくいといった課題も踏まえ、事業アンケートの対象者や指標について、見直し、改善が求められる。

② 実効的な施策・事業展開

- これまでの計画は理念的で「従来どおり」の施策が多く、例えば「パークで筋トレ」では、新規参加者数の伸び悩みに対する具体的な対策（社会人層へのアプローチなど）が見えてこない。
- 「スクラップアンドビルド」を意識した実効的な施策展開が求められる。

③ 広報・情報発信の強化

- 現状では、情報発信が、単なる告知に留まっているように感じる。
- 若い世代に届くような魅力ある情報の発信強化（フォロワー数を意識したSNS運用）やデジタルツールを活かしたPR（「あだち脳活ラボ」の活用）など、参加者の裾野拡大や新規層の開拓などに向けた取り組みが求められる。

【運動・スポーツ部会の総括】

- ① 各施策にまだ課題が残されているが、全体として、一定の評価ができる。
- ② 「達成状況」と比較して、特に「方向性」については、全般的に低調な評価に留まっており、今一度、区の目指すべき目標を明確にするよう、検討する必要がある。
- ③ 今後は、施策、事業の一部見直し（スクラップアンドビルド）も含め、達成状況の向上に向けた、より実効的な提案の検討が求められる。